

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 **【新】ストーリー性のある戦国武将観光等推進事業費（R8 分）**

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）
観光文化スポーツ部 観光資源活用課 電話番号：058-272-1111(内3935)
関ヶ原古戦場活用推進室 活用推進係 E-mail：c11337@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 91,665 千円 （現計予算額： 0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 入 収	寄附金	その他	県 債	一 般 源 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	91,665	33,400	0	0	0	0	0	0	58,265
決定額	91,665	33,400	0	0	0	0	0	0	58,265

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

令和 7 年 3 月の知事答弁に基づき、「ストーリー性のある全県的な戦国・武将観光」を推進するため、唯一無二の戦国の聖地「関ヶ原」をキーワードに、全国から観光客が集う歴史的価値あるシンボルイベントの開催や、岐阜関ヶ原古戦場記念館と県内全域の歴史資源を組み合わせた旅行商品の造成などにより、岐阜関ヶ原古戦場記念館を全県的な戦国・武将観光の拠点として認知度向上を図る。

（2）事業内容

- ・関ヶ原古戦場シンボルイベント開催
戦国・武将観光の拠点である関ヶ原でのシンボルイベント実施による県内の戦国・武将観光の認知度向上
- ・戦国周遊コース造成
岩村城、土岐高山城など県内全域の歴史資源を組み合わせた旅行商品の造成
- ・海外古戦場連携事業
万博国際交流プログラム「世界三大古戦場サミット」を踏まえた連携事業の実施
- ・関ヶ原古戦場海外誘客PR
- ・記念館案内標識設置

（３）県負担・補助率の考え方

令和2年10月に開館した岐阜関ヶ原古戦場記念館を中心とした全県的な広域周遊観光を推進するため、県負担が妥当。

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	480	プロポーザル審査会等
旅費	4,030	業務旅費、費用弁償等
需用費	3,894	
役務費	963	
委託料	80,800	イベント・プロモーション、旅行商品造成等
使用料	1,348	ETC使用料、会議室等
備品購入費	150	
合計	91,665	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

３ 地域にあふれる魅力と活力づくり

（２）次世代を見据えた産業の振興

（２）国・他県の状況

有：愛知県（歴史観光推進事業費、武将観光情報発信事業費）

（３）後年度の財政負担

岐阜関ヶ原古戦場記念館を核とした全県的な戦国・武将観光の推進のため、今後も継続的な事業実施が必要

（４）事業主体及びその妥当性

当事業については、関ヶ原町にとどまらず、「関ヶ原の戦い」に関係性を有する県内市町や他県との連携を図りながら実施する必要がある、広域性や高度な交渉力が求められることから、県が事業主体として実施することが妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・全国的に知名度の高い関ヶ原古戦場を活用した戦国・武将観光の推進により、観光客数の増加を図るとともに、関ヶ原古戦場を核とした周辺地域の周遊観光を振興する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
①観光消費額		3,044億円	3,100億円	3,300億円	(R9) 3,600億円	84.6%
②観光入込客数 (実数)		4,365万人	4,800万人	4,900万人	(R9) 5,300万人	82.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	
令和4年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和5年度	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	全国的に知名度の高い関ヶ原古戦場を活用した戦国・武将観光を推進するため、ブランド力をさらに高め、国内外への魅力発信を継続して行う必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価)	

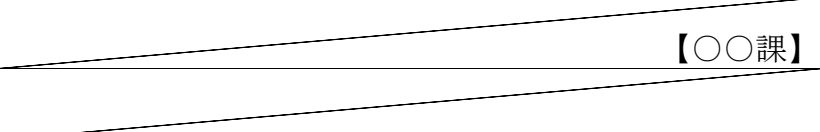
(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 事業の推進にあたっては、関係機関・市町などと連携を図り県全体で実施していくことが必要である。

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 関ヶ原古戦場のブランド力、魅力を活かし、国内外に岐阜県の戦国・武将観光を発信し誘客を推進していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 組み合わせる理由 や期待する効果 など	
--	--

【〇〇課】